

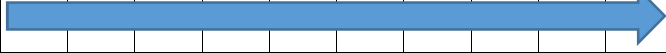
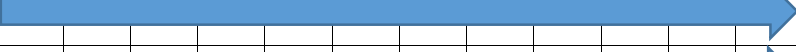
令和 5 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む											
項 目		島っこ留学制度による留学生の招致推進											
取組の内容		「島っこ留学制度」は、豊かな学びや地域における体験活動等を願う島外の方を対象に、市内の小・中学校への入学または転学を希望する児童・生徒を受け入れ、対馬市の学校や地域の活性化及び教育の振興と充実を図ることを目的として、平成27年11月からスタートした制度で、複式学級の解消等も考慮し取り組みます。											
指標（数値目標）		【最終目標】 令和7年度末までの留学生累計30名 【活動指標】 SNS等による情報発信 20回以上 里親の新規開拓 2件 島っこ留学推進協議会の開催 3回 【成果指標】 新規留学生受入れ3名以上（小学生若しくは中学生）											
SDGs指標								達成時期		令和8年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
島っこ留学推進協議会				■			■				■		
広報・募集活動													
里親説明会													
事前視察													
留学生確定											■		

課名等	教育総務課	全体	49
		個別	14-01

指標 に 対 す る 実 績	【活動】 SNS等による情報発信 20回以上 →11回 里親の新規開拓 2件 →1件 島っこ留学推進協議会の開催 3回 →4回 【成果】 新規留学生受入れ3名以上（小学生若しくは中学生） →1名（佐須奈小中学校区）	
	・平成27年度にスタートし、令和5年度までに26名の留学生を受け入れ、18名の卒業生（終業生）を送り出してきましたが、今年度、ケーブルテレビ等による里親募集の結果、次年度の里親確保ができず、受入体制が整わなかったため、SNSによる島外向けの情報発信を行うことができませんでした。	
評価 価		
	評価記号	△
今後の展開	令和6年度から島っこ留学コーディネーターを採用し、新規里親の開拓と里親継続のための各種サポートを充実させ、里親の確保及び留学生の受入体制を整えます。また、対馬でしか体験できない留学プログラムを開発するなどし、事業の魅力を高め留学生の確保に努めます。	

令和 5 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとづくり											
	最優先課題	子どもを大切に育てる											
項 目		ふるさと対馬を愛し、豊かな心と確かな学力を身に付けた子どもの育成											
取組の内容		地域住民や保護者ととともに、地域を支えていくことができる人材を育成することが喫緊の課題と捉え、校種間や地域との連携を促し、対馬の歴史や自然、文化、環境問題等を題材にした学習を通して、将来を生きていく軸を育てるとともに、ふるさとによりよい未来を創造することができる資質や能力を持った児童生徒の育成に取り組みます。											
指標（数値目標）		1 学校訪問時及び各種研修会における指導助言を年間15回以上実施。 2 ICTを活用した授業支援と研修会を年間6回以上実施。 3 学力調査の実施と結果分析に基づく学力向上プランの作成及び実践。 4 ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成と改善。 5 令和6年3月迄に小中各2校で2つの学校運営協議会設置準備完了。											
SDGs指標								達成時期		令和6年3月			
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
学校訪問時及び各種研修会における指導助言													
ICTを活用した授業支援と研修会													
学力調査の実施と結果分析に基づく学力向上プラン作成及び実践													
ふるさと学習及び総合的な学習の時間の全体計画作成と改善													
学校運営協議会の設置													

課名等	学校教育課	全体	50
		個別	14-02

指標に対する実績	1 学校訪問や研修会等において年間50回以上の講義や指導助言を実施しました。 2 ICTを活用した授業支援と研修会を合わせて11回実施しました。（研修会6回、学校を訪問しての授業支援5回） 3 学力向上プランを全小中学校で作成し、授業改善につなげました。 4 提出された全体計画を確認するとともに、必要に応じて改善事項について指導しました。 5 小中各2校で2つの学校運営協議会の設置準備が完了しました。	
	学校を訪問しての授業支援に加え、研修会における講義や技能習得により授業改善が図られるとともに、ICTの活用も促進され、最新の教育情報の周知や指導方法の改善を図ることができました。 学力向上プランの作成に加え、市独自の学力調査を実施することで切れ目のない指導を行う体制が整いました。また、2つの学校運営協議会設置の実績を踏まえ、次年度以降も計画的に設置に向けた取組を行います。	
評価	評価記号 ◎	
	今後の展開 PC端末を最大限に活用した個別最適な学びへの転換については、学校間、教師間で格差があるため、研修会を充実させ、指導力を向上させます。 本年度、市独自に学力調査を実施しました。その結果を分析し、個別最適な学びに結びつけ、児童生徒の学力向上を目指します。	

令和 5 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ひとづくり											
	最優先課題	次世代の担い手の郷土愛を育む 大人たちが対馬の魅力を知り誇りを持つ											
項 目		生涯・競技スポーツの普及振興											
取組の内容		人口減少・少子高齢化などの影響により「市内スポーツ活動の衰退」 「専門的な指導者の不足」「スポーツの多様化への対応」が課題となっ ています。そこで、プロスポーツクラブ等連携事業において、一流スポーツ 選手によるスポーツ教室等のスポーツイベントを開催することで、生涯・ 競技スポーツの普及振興に取り組みます。											
指標（数値目標）		○プロスポーツクラブ等が参画する新組織を設立し、運営会議を開催 設立時期：8月、運営会議の回数：3回 会議内容：組織の運営、イベントの企画等 ○新組織によるスポーツイベントを開催 計9回（3回×3種目（サッカー、バスケット、その他））											
SDGs指標		 						達成時期			令和6年3月		
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
新組織の設立準備													
設立会議及び運営会議の開催													
スポーツイベントの開催													

課名等	生涯学習課	全体	51
		個別	14-03

指標 に 対 す る 実 績	○プロスポーツクラブ等が参画する新組織を8月に設立 しました。 組織名称：しまのスポーツ活性化実行委員会 連携団体：V・ファーレン長崎、長崎ヴェルカほか ○運営会議の開催回数 総会：2回、イベント企画会議：4回 ○新組織によるスポーツイベントの開催 計5回（サッカー1回、バスケット1回、陸上競技 1回、野球1回、その他1回）	
	市内でのスポーツイベント等を企画運営する新組織を 設立したことで、プロスポーツクラブ等との連携体制を 構築することができました。また、これまでになかった 専門的な知識のある指導者等からスポーツ指導を受ける 機会を創出することができました。	
価		
	評価記号	△
今 後 の 展 開	今後は、新たな団体等との連携の可能性を模索し、 様々な競技やニーズに対応したスポーツイベントを企画 できる連携体制を整備します。それによって市内のス ポーツ活動の更なる活性化に取り組みます。	

令和 5 年度 教育委員会事務局 組織目標と成果

総合計画 の区分	挑 戦	ふるさとづくり											
	最優先課題	歴史・文化を未来に残す											
項 目		対馬固有の遺跡や文化財の保存と活用											
取組の内容		対馬を代表する歴史文化遺産を保存し、その価値を後世へ伝えていくために、積極的に市民へ情報発信を行っていきます。 また、国指定を目指す文化財の調査報告書を作成し、今後の保存活用に資するとともに対馬の文化財の価値について周知していきます。											
指標（数値目標）		・ 越高遺跡調査検討委員の皆様とWeb等で協議を進めながら、越高遺跡の総括報告書を作成します。 ・ 対馬藩お船江跡総合保全検討委員会を1回以上開催し、総合調査報告書を作成します。 ・ 金石城跡周辺の案内板等を整備し、現地見学会を開催します。											
SDGs指標		  			達成時期			令和6年2月					
取組とスケジュール		4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	1月	2月	3月
越高遺跡の調査報告書作成													
対馬藩お船江跡総合調査報告書作成													
金石城跡周辺整備・活用													

課名等	文化財課	全体	52
		個別	14-04

指標に対する実績	・ 越高遺跡総括報告書については、検討委員会、作業部会での協議を経て、刊行することができました。 ・ 対馬藩お船江跡については、豪雨災害によりき損した築堤の状況確認、補強工事の指導及び今後の事業計画等の協議のため、7月中旬に、対馬藩お船江跡委員会委員長ほか有識者1名を招聘し、現地視察等を実施することとなり、そのような経緯から報告書作成業務を中断し、委員会の開催を見送りました。 ・ 金石城跡の案内板等の整備と現地見学会は、予定どおり実施できました。	
評価	越高遺跡総括報告書の刊行、金石城跡案内板整備と現地見学会を開催し、当初の目的を達成することができました。また、対馬藩お船江跡の調査報告書作成は、年間スケジュールにより計画的に進めていく予定でしたが、想定外の災害が発生したため、復旧作業・工事を優先した結果、報告書作成の作業が停滞しました。	
	評価記号	△
今後の展開	対馬藩お船江跡の調査報告書については、文献調査の作成は進捗しましたので、他の調査成果をまとめ、完成に向け作業を進めます。	